

「伊崎田学園の伊崎田和紙の伝承活動の取組」

1 学校名

伊崎田学園 志布志市立伊崎田小学校，志布志市立伊崎田中学校

2 学年・人数

小学6年生12人・中学3年生12人（計24人）

3 場所・日時

(1) 練習の日時・場所

令和5年1月13日（金）総合的な学習の時間「紙漉体験活動」
（伊崎田学園 郷土資料室）

※小学6年生及び中学3年生

令和5年1月20日（金）総合的な学習の時間「かじの木採取」（小学校）

※小学6年生及び中学1・2年生

(2) 発表の日時・場所

令和5年3月15日（水）伊崎田中学校卒業式（本校体育館）

令和5年3月23日（木）伊崎田小学校卒業式（本校体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる伝統工芸品について

(1) 名称

伊崎田和紙（いさきだわし）

(2) 由来

明治の中頃，吹上・加世田からの移住の人々により伝えられた。昭和40年代に衰退したが，昭和63年に復活した。

(3) 構成等

小学6年生と中学3年生，中学1・2年生が総合的な学習の時間の中で，次の活動に取り組んでいる。

- ・和紙作りについて調べ，まとめたり，発表したりする。
- ・紙漉体験活動を行う。
- ・かじの木採取を行う。

5 保存会や地域との連携の具体

- ・保存会との打合せ
- ・紙漉体験活動での伊崎田和紙保存会へ講師招聘
- ・かじの木採取での伊崎田和紙保存会へ講師招聘

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

保存会の方に指導していただき，小学6年生と中学3年生が紙漉体験活動を通して，郷土学習として本校の伝統的な行事について学ぶ機会とした。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等の写真）



（紙漉体験活動の様子）

（かじの木採取の様子）



（卒業式の様子）

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想

【児童】

- ・ 和紙作りは実際にしてみると、見ていたよりもとても難しかった。細かい作業がたくさんあり，時間がかかる。
- ・ 自分が漉いた和紙が，自分の卒業証書になるのでとてもうれしい。大切にしたい。

【保護者】

- ・ 伊崎田和紙が卒業証書になることは大変ありがたい。できることは，協力していきたい。
- ・ 伝統ある伊崎田和紙に誇りを感じている。小・中学校でこの伝統を守り続けてほしい。

【保存会】

大切な伝統なので守っていききたい。地域の協力者を増やしていけたらと思う。自分たちで作った卒業証書を大切にしたい。

【教職員】

- ・ 紙漉体験活動は貴重な体験であり，伊崎田小・中学校の伝統なので大切にしていきたい。
- ・ 校内に紙漉き体験ができる場所があることは素晴らしい。カリキュラムを工夫し，これからの活動を更に充実させていきたい。